

THE ROKKOU

六 甲

第41号 (第3後方支援連隊広報紙)

- 1 p 年頭の挨拶：連隊長 黒丸 1佐
- 2 p 年頭の挨拶：OB会会長 仲田様・最先任上級曹長 下田准尉
- 3 p 方面統制饗庭野演習場整備・青野ヶ原演習場定期整備
- 4 p LAM射撃
- 5 p 基本基礎競技会 (走力)
- 6 p 基本基礎競技会 (走力) 表彰
- 7 p 和田連隊長離任式
- 8 p 黒丸連隊長着任式
- 9 p 基本基礎競技会 (演劇) 及び表彰
- 10 p 年末行事 (餅つき・家族支援)
- 11 p 平成23年連隊朝礼及び連隊訓練始め式
- 12 p 命をつなげた男達

寄贈 第三後方支援連隊OB会一同

第三後方支援連隊歌

一 近畿七都に 花と咲き

任務 意気高し

我が 第三後方支援連隊

桜 我が 営所

我が 第三後方支援連隊

我が 第三後方支援連隊

我が 第三後方支援連隊

我が 第三後方支援連隊

我

見

我

我

我

我

我

我

我

我

新年の挨拶

皆様、新年明けましておめでとようござ
います。昨年十二月一日付で、第三後方
支援連隊長に着任いたしました、黒丸一
佐です。よろしくお願いいたします。

今年も、兔年ということで、隊員諸官
をはじめ、隊員御家族の皆様、そして、
連隊に対し熱くご支援、ご協力をしてい
ただいております皆様方に、「飛躍の
年」でありますよう心よりお祈り申し上
げます。

世界情勢におきましては、尖閣諸島沖
における衝突事件、いまだに解決しない
北方領土問題、そして、世界を震撼させ
た、延坪島（ヨンピョン島）への砲撃事
件と、世界は非常に緊迫した状態であり
ます。

これらの世界情勢から、昨今、自衛隊を
取り巻く環境は非常に厳しくなっており、
即応性及び、任務を継続して行う持続力
を求められています。我が後方支援連隊
についても、国際緊急援助隊等、即動を
求められる時代であり、かつ、いつ終わ
るか分からない長い時間を勤務し、支援
し、現地のために頑張らなければならず、
災害派遣にしても、同様だと思えます。

これらを踏まえて、着任にあたり、私は
「生き残れ、かつ支援せよ」と要望しま
した。連隊が信頼される部隊であり、そ
して強靱な隊員の育成を目的に、隊員と
一緒に汗を流していきたいと思っております。



最後になりましたが、広
報誌「六甲」の誌友の皆様
の後方支援連隊に対します
ご理解とご協力をお願い申
上げますとともに、本年
も皆様方にとりまして、幸
多き年となりますよう心よ
りお祈り申し上げ年頭の挨拶
とさせていただきます。

第三後方支援連隊長

一等陸佐

黒丸 逸朗

年頭の挨拶

2 / 1 2

連隊OB会会長 仲田様



連隊の皆様、OB会の皆様、明けましておめでとうございます。本年が皆様にとりまして輝かしい年であることを、心から祈念申し上げます。昨年は「龍馬伝」がブームになりましたが、改めて江戸の太平の夢を打ち破ったペリー艦隊4隻が当時の人々に与えた影響とそれに立ち向かった勇気を認識いたしました。少し大げさになりますが平成の太平の夢はたった1隻の漁船で打ち破られることを心ある国民は理解したのではないかと思います。今年もいろいろ緊張した状況が起こるものと思われるかもしれませんが、これも歴史の試練として協力して乗り越えていかなければとの思い新たにしております。皆様の益々のご精進をお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

事故もなくさわやかな新年の幕が開き、今年は連隊にとって良い年になる事と拝察いたします。

訓練、支援及び各種行事等、今年も多忙ですが新連隊長を核心として連隊が益々団結して職務に邁進出来るよう祈念しております。

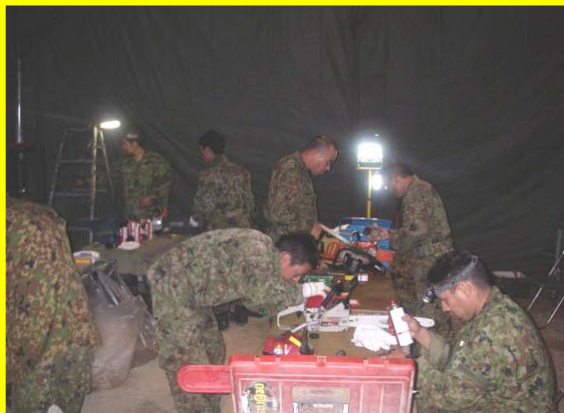
連隊最先任上級曹長
准陸尉 下田 美幸



方面統制あいば野演習場整備・青野原演習場定期整備

3 / 1 2

秋の色が濃くなるあいば野演習場で10月25日(月)から、青野原演習場は10月26(火)から、それぞれ 11月4日(木)までの間、演習場整備(訓練場整備・枯れ松伐採等)の器材整備支援・救護支援等を行い、各部隊は隊務の総合一体化と支援を並行して訓練を行った。



伐採等で故障した機材の整備は翌日に間に合わすべく、整備は夜遅くまで行い、器材の稼働率に貢献した。(第1整備大隊)

支援の間に訓練をする衛生科隊員



装軌車の整備もバッチリ!



あいば野演習場において37連隊の支援をする第3直接支援中隊
(左)37連隊長に訓練及び整備状況を報告する第3直接支援中隊長
(右)草刈機等の整備をする第3直接支援中隊の隊員

LAM射撃 (福知山・日本原)

4 / 1 2

11月8日(月)～11月12日(金)までの間、連隊は個人携帯対戦車弾(通称:LAM)の訓練及び射撃を実施した。連隊の各部隊から参加者が集まり、当初、千僧駐屯地において、非実射訓練(取り扱い・射撃予習等)、福知山射場で縮射弾射撃、最後に日本原演習場で演習弾を使用した射撃を実施した。段階を経て訓練ができたことは、初めてLAMを取り扱った隊員にとっては良い成果があった。



福知山射場にて縮射弾射撃

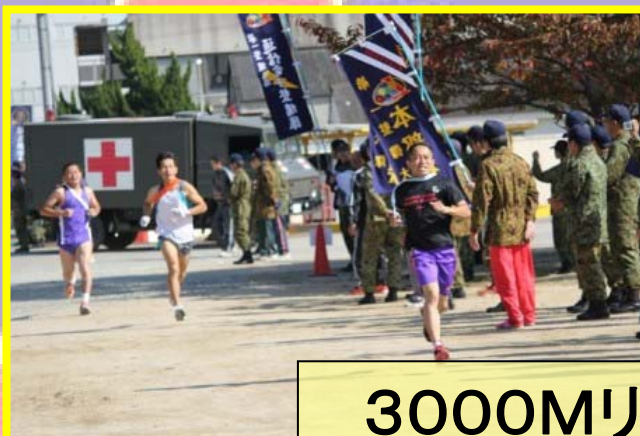


日本原演習場にて演習弾射撃

基本基礎競技会（走力）

5 / 1 2

11月11日(木)、基本基礎競技会(走力)を行った。各部隊から年代別で選出された選手によるリレー方式(3000M×3名、100M×4名)の競技は、デッドヒートを繰り広げ、選手・応援が一丸となって、世界陸上並みの盛り上がりを見せました。見事、総合優勝を飾ったのは第2整備大隊第2直接支援中隊で、100M・3000M共に僅差の戦いを制し、文句なしの優勝でした。



3000Mリレーの部



100Mリレーの部

総合優勝！第2整備大隊 第2直接支援中隊

100M×4リレーの部 第1位・3000M×3リレーの部 第1位



補給隊

100M×4リレーの部 第2位



連隊本部・本部付隊

3000M×3リレーの部 第2位





第11代連隊長 和田1佐離任!!

7 / 1 2

平成22年12月1日付で、和田信之一等陸佐は第11代第3後方支援連隊長を離任しました。和田1佐は、在任中、統率方針に、「情熱連隊の育成」を掲げ、要望事項を「技を磨け」「心を澄ませ」「五感を研げ」とし、2年間、連隊の指揮を執られました。平成22年3月には、広範多岐にわたる各種兵站業務を推進する等、師団の隊務運営に多大な貢献をした功績により、第3級賞状を受賞しました。また、離任式においては、連隊長夫人及びOB会会長参列のもと、各隷下部隊に、2年間の熱い思いを述べられ、まさに、情熱連隊長らしい離任式となりました。最後は、連隊隊員に見送られ、千僧駐屯地を後にしました。



よいしょ~!



創立記念行事での和田1佐



↑↑天突き↑↑





第12代連隊長 黒丸1佐着任!!

8 / 12

平成22年12月1日付で、第12代第3後方支援連隊長に黒丸逸朗一等陸佐が着任しました。連隊長は、着任の辞で、「昨今の陸上自衛隊を取り巻く環境は非常に厳しい環境にあり、時代の流れは非常に早いものだと思っております。今の火箱陸幕長は即応性があり、任務を継続して行う持続力を求められています。我が後方支援連隊についても、国際緊急援助隊等、即動を求められる時代であり、かつ、いつ終わるかわからない長い時間を勤務し、支援し、現地のために頑張らなければならず、災害派遣にしても同様だと思います。要望事項については、教育訓練上のテーマとして『生き残れ、かつ支援せよ。』とし、勤務したいと思っています。(着任の辞抜粋)」と述べ、この日、黒丸1佐を核心とし、新たな第3後方支援連隊の歴史が始まりました。



幹部挨拶



状況報告

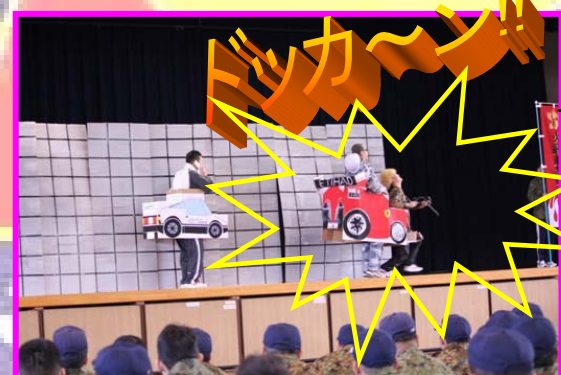
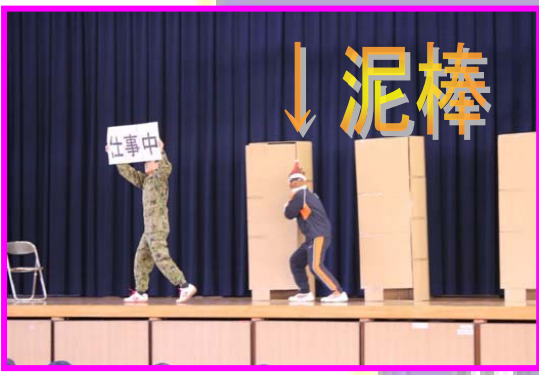


第12代 第3後方支援連隊長 着任記念写真

基本基礎競技会（演劇）及び表彰

9 / 1 2

12月20日(月)に千僧駐屯地体育館で、基本基礎競技会(演劇)を行った。
 今回の競技会は、暴力事案、金銭管理及び交通事故防止と、3つの題材に区分し、各部隊は、手作りの大道具・小道具・衣装等を駆使し、笑いあり、感動あり!?のオリジナリティ溢れる演劇で、隊員自ら服務等事故の未然防止を促すとともに、年末・年始休暇間にむけて事故の撲滅を図った。



	暴力事案の部	金銭管理の部	交通事故防止の部	敢闘賞
優勝	2整大 高射直接支援隊	輸送隊	1整大 火器車両整備中隊	補給隊
準優勝	1整大 通信電子整備隊	2整大 第3直接支援中隊	衛生隊	

年末行事（餅つき・家族支援）

10 / 12

12月23日(木)の祝日、ご来賓・OB会役員・隊員家族等、多数が参加して、年末行事として餅つき及び家族支援行事を行った。

最近の家庭で餅をつく事が少ない傾向にあるため、子供たちにとっては貴重な体験となりました。
その他、ビンゴゲームや、ジャンケン大会で盛り上がり、一年を締めくくる良い年忘れ大会となりました。



連隊OB会副会長 川端様



ひとりでも・「よいしょ〜！」



お父さんと一緒に！



まいう〜！
おでんをほおぼる子供たち

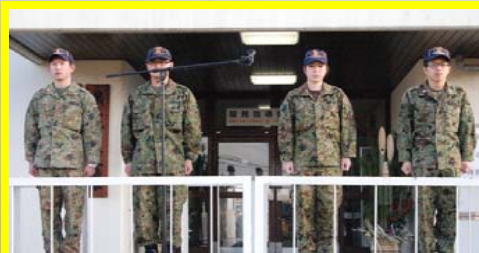


平成二十三年 連隊朝礼及び連隊訓練始め式

平成23年、最初の連隊朝礼及び訓練を行った。連隊長は年頭の辞で、「事案や事故を未然に防ぐために、点検すべきところや物をしっかりと点検してもらいたい!」と述べ、成人式を迎える隊員は成人としての抱負を語った。連隊訓練始め式では、1月1日付で3等陸曹に昇任した隊員が決意を述べ、自衛隊体操を展示した。各部隊は、千僧駐屯地の北側地域を声を出して2周走った後、最後に連隊歌斉唱の指揮をする年男トリオが抱負を述べ、全員で連隊歌を斉唱し、新たな年がスタートした。



年頭の辞を述べる連隊長



成人を迎えた隊員



年男トリオの指揮で連隊歌斉唱



連隊本部



本部付隊



第1整備大隊



第2整備大隊



補給隊



輸送隊



衛生隊



命をつなげた男達！！

12 / 12

11月19日(金)18時17分頃、医務室当直から衛生隊に「外来宿舎で予備自衛官が失禁した状態で倒れている、救護支援をお願いしたい。」と電話が入り、業務調整で残っていた田路1尉、石角曹長、宮原3曹が外来宿舎に急行した。

召集訓練を担当していた偵察隊の隊員に案内され居室内に入ると、男性予備自衛官が床に倒れており、直ちに意識、呼吸、脈拍の確認をするが応答が無く、田路1尉の指示で、伊丹消防に救急車の要請をするとともに、医務室の当直、偵察隊救護陸曹とともに救命処置(人工蘇生器による酸素吸入、心臓マッサージ、AEDの装着)を開始した。救命処置を続けて約10分後、2回目のAEDのショック発動で頸動脈の拍動を確認できるようになり、徐々に蘇生の兆しが見られたが、呼びかけに反応すること無く依然として意識不明状態であった。到着した伊丹消防の救急車に患者を搭載し、現場で実施した救命処置と患者の状態等を申し送り救命処置を終了した。

その後予備自衛官が搬送先の病院で一命を取りとめたことと、急性心筋梗塞で2~3週間の入院加療が必要であると偵察隊担当者から連絡を受けた。(12月8日退院)

Medical Unit